



### 余芸大会の収益金を贈呈

「第2回歳末たすけあい安来市民余芸大会」の収益金（70万9600円）の贈呈式を12月27日に行いました。

同大会の主催者（山陰中央新報社、やすぎどじよっこテレビ、安来市社会福祉協議会、安来市）を代表して近藤市長が「地域の福祉活動に役立ててください」とあいさつ。その後、安来市共同募金委員会の小笹邦雄会長に目録を手渡しました。

小笹会長は「収益金は、市民の安心安全のため地域福祉に活用したい」と話していました。



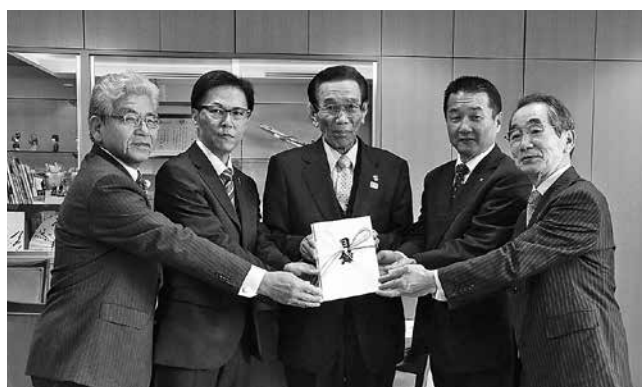
▶全部で10キログラムのもち米をつきました。

### 師走恒例のおもちつき

12月7日に「みんなで楽しくおもちつき」を安来市子育て支援センターで行いました。日本の伝統文化を親子で体験し、食育につなげようと毎年開催しています。

当日は、18組45人の親子が参加。子どもたちは「よいしょ、よいしょ」というかけ声に合わせて、一生懸命に杵を使っておもちをついていました。

林俊介くん（3歳）は「初めておもちつきをして楽しかったです。またしたい」と話していました。



▲目録を手渡す主催側の代表4者と小笹会長（中央）

### 新成人を華やかにお祝い

1月3日、総合文化ホール「アルテピア」で「平成31年安来市成人式」を行いました。

当日は、式典と安来節の祝典演奏に続き、新成人が主体となった成人式実行委員会による企画を開催。懐かしい写真が登場するスライドショーや新成人によるスピーチで、会場は大いに盛り上がりました。

同委員会の本田 琉真（りゅうま）さんは「企画がうまくいってよかった。自分は県外にいたので、安来の良さをもっと知ってきたい」と話していました。

▶周辺は能義平野が望め、日当たりの良い立地です。



### 飯生町に新しい集会所が完成

平成30年度コミュニティ助成事業を活用して飯生町自治会が集会所を新築しました。

新しい集会所には、駐車スペースが設けられ、入り口や内装などをバリアフリー化。誰にでも使いやすい建物となっています。また、これまでは無かった調理室を新設。今後は、自治会の調理実習などでの利用が予定されています。

同事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に実施しているものです。

▶久しぶりに会った友人とスマートフォンで自撮りする新成人。

